

2020年8月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ニ レ コ

(コード番号：6863 JASDAQ)

(TEL 042-642-3111)

ニレコ デスクトップ型「近赤外分析計 A8850」の販売開始

— 長年の知見をもとにした自社開発により高性能・低価格を実現 —

株式会社ニレコ（本社：東京都八王子市、代表取締役社長 久保田 寿治）は、この度、8月20日より自社開発のデスクトップ型近赤外分析計 A8850 の販売を開始します。

ニレコは40年以上にわたり取扱製品の一つとして海外メーカ製の近赤外アナライザ製品を販売してまいりましたが、この度、これまでに培った知見をもとに独自の近赤外分析計を開発いたしました。

本装置は、可視領域の400nmから近赤外領域の2500nmまでの幅広い波長領域に対応可能なモノクロメータを搭載し、様々な物質の非破壊検査用途に活用できる本格製品でありながら、従来のハイエンド近赤外分光装置に比べ、大幅な価格低減を図り高いコストパフォーマンスを実現しました。

近赤外アナライザは、測定対象に近赤外線を照射し、吸光度の変化を測定することで対象の成分を非接触・非破壊で迅速に測定できるため、農業や食品産業、医薬品や化学プラントなどのケミカル産業における研究開発分野や生産分野で幅広く活用されています。

デスクトップ型近赤外分析計 A8850 は、ニレコがこれまでに培った近赤外アナライザの知見をもとにユーザーニーズに即した製品の開発に努めました。大型のグレーティング（回折格子）の採用により測定精度を高めるとともに、グレーティング制御の最適化により分析対象物を1スキャン当たり0.5秒で行うことが可能です。また、装置内にX-Yステージを搭載し、ユーザーニーズに合わせた自由度の高い分析を行えることに加え、アタッチメントとセルの組み合わせにより、1台で粉体、固体、連続測定などを実施可能です。ソフトウェアについても、操作者の使いやすさを追求した開発を行い、従来のハイエンド近赤外分光装置比で高いコストパフォーマンスを実現しました。

ニレコでは、本装置の発売により、近赤外アナライザを従来以上に活用しやすい環境を提供いたします。



■近赤外分析計 A8850 仕様

測定波長範囲	400-2500nm	
測光範囲	2.0AU	
ノイズ (RMS) at 0 Abs	400-700nm	< 50 μ Abs
	700-2500nm	< 30 μ Abs
データ間隔	0.5nm	
スキャン速度	2 スキャン/秒	
検出器	400-1100nm	Si (シリコン)
	1100-2500nm	PbS (硫化鉛)
波長精度	正確さ	± 0.03 nm
電源入力	単相 AC 90V-264V 50/60Hz	
消費電力	最大 200W	
本体寸法	幅 386.8mm x 高さ 389.4mm x 奥行 524.7mm	

※本仕様は、お断り無しに仕様の一部を変更、向上させていただくことがあります。

本件に関するお問合せは

株式会社ニレコ 開発部門

分析機器事業グループ

TEL: 042-660-7344 FAX: 042-660-7326

e-mail: info-oe@nireco.co.jp